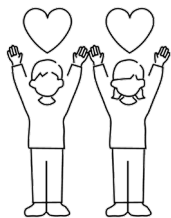


防災教育チャレンジプラン

最終報告

龍谷大学 石原ゼミ
防災教育プロジェクト



私たちのテーマについて

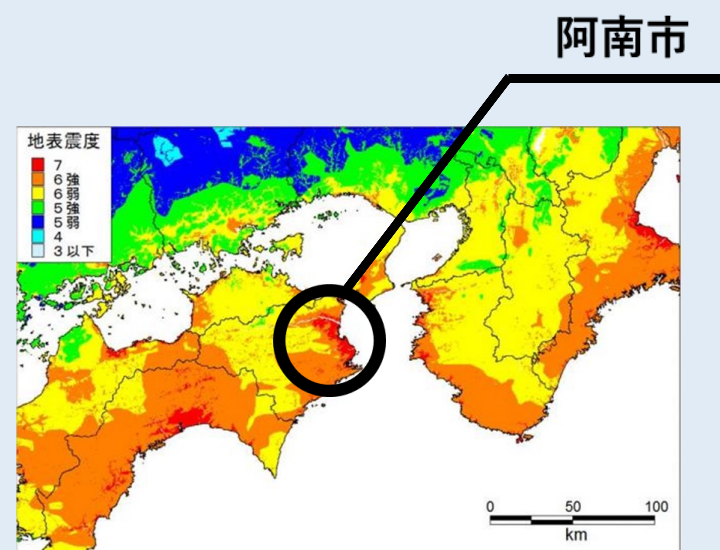
▶ インクルーシブ防災をあたりにえに！

児童に「**インクルーシブ防災**」をテーマとした
防災教育授業を徳島県阿南市の小学校で実施し、指導者
向けのカリキュラム・教材・学習指導案を作成します。

活動のテーマに至った背景

この図からわかるように**阿南市**は地震・津波による被害が甚大です。

阿南市の高齢者率は2023年度では約**30%**でした。災害時、高齢者の避難や避難所では大きな課題となります。



活動のテーマを実現するための取り組み

- ▶ 能登半島地震の生活再建調査に参加し、**高齢世帯の生活状況や災害時の困りごとを聞く。**
- ▶ 生活再建調査で実際に聞いた**災害時要援護者の困りごとを小学生に伝える。**
- ▶ HUGや個別避難計画の授業を通して、**小学生に災害時要援護者の立場になって考えてもらい、必要な支援を理解してもらう。**



これまでの活動報告

topic

活動内容

5月・6月



能登半島地震
ボランティア

9月



防災授業①
阿南市立山口小学校

台湾
活動報告

12月



ぼうさい甲子園

2月



防災授業②
阿南市立中野島小学校
阿南市立橘小学校

能登半島地震の生活再建調査

▶ 5月18～19日、25～26日、6月15～16日にかけて石川県被災高齢者等把握事業の「誰も取り残さない被災者サポートプロジェクト」に参加。

能登半島地震による被災者の孤立防止や、被災生活により状態の悪化が懸念される在宅の高齢者等に対して、個別訪問による早期の状態把握、必要な支援を届け、

安全な生活の再建をサポートするもの

topic

能登半島地震の生活再建調査

世帯票 【訪問時様式】被災者受付カード(ver七尾市0502)

世帯No.		記入日	2024年	月	日	担当者名		ipad入力	<input type="checkbox"/> 済
回答者のお名前		セイ		メイ		回答者の属性			
世帯員の構成員									
世帯員No.		フリガナ/お名前		生年月日(西暦)		年齢			
1 (世帯主)		セイ	メイ	年 月 日		年齢		<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障害 <input type="checkbox"/> 障害児 <input type="checkbox"/> その他課題	
2		セイ	メイ	年 月 日		年齢		<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障害 <input type="checkbox"/> 障害児 <input type="checkbox"/> その他課題	
3		セイ	メイ	年 月 日		年齢		<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障害 <input type="checkbox"/> 障害児 <input type="checkbox"/> その他課題	
4		セイ	メイ	年 月 日		年齢		<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障害 <input type="checkbox"/> 障害児 <input type="checkbox"/> その他課題	
5		セイ	メイ	年 月 日		年齢		<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障害 <input type="checkbox"/> 障害児 <input type="checkbox"/> その他課題	
連絡先									
住所(住民票上)		〒() () ()							
電話番号		□ 携帯電話() () ()		□ 固定電話() () ()		本人以外の所有の場合 □ 家族 □ 知人 □ その他 □ 連絡先なし ! 連絡手段がない場合にチェック			
現在・当面の居所									
<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 避難所(名称:) <input type="checkbox"/> 車両 駐車場所()									
<input type="checkbox"/> 自宅以外の個人宅(住所等:) <input type="checkbox"/> 住まいの場所									
<input type="checkbox"/> みなし仮設(住所等:) <input type="checkbox"/> 市町内									
<input type="checkbox"/> 応急建設仮設(名称:) <input type="checkbox"/> 市内市町									
<input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 県外									
避難の状況									
避難の状況(複数回答) <input type="checkbox"/> 一時避難所 <input type="checkbox"/> 1.5次避難所 <input type="checkbox"/> 2次避難所 <input type="checkbox"/> 車中避難 <input type="checkbox"/> 自主避難(ホテル・旅館) <input type="checkbox"/> 自主避難(友人・親戚宅) <input type="checkbox"/> 避難していない									
避難期間 開始日: 2024年 月 日 ~ 終了日: 2024年 月 日 <input type="checkbox"/> 避難していない <input type="checkbox"/> 現在も避難中									
特記事項→ipad入力の際は「今後の支援に際しての留意事項」の欄に記入									
ご提供いただいた世帯票・個人票に含まれる個人情報、令和6年能登半島地震に関して適切な支援*1、情報提供*2を行う目的で、被災市町、広域避難者の受入市町村、都道府県、民間の支援団体等に必要な範囲で共有することに同意します。 *1 五川(県地産物)と日本における被災者への支援(義援金配分・災害補償 等) *2 各種支援制度の周知 等									
								同意確認	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

世帯票 【訪問時様式】被災者受付カード(ver七尾市0502)

世帯の人数	<input type="checkbox"/> 1人 <input type="checkbox"/> 2人 <input type="checkbox"/> 3人 <input type="checkbox"/> 4人 <input type="checkbox"/> 5人以上の世帯
被災証明	<input type="checkbox"/> 取得済み <input type="checkbox"/> 申請中・申請予定 <input type="checkbox"/> 未申請(被害あり) <input type="checkbox"/> 未申請(被害なし) <input type="checkbox"/> 再調査依頼中
住家の被害状況	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 中規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 半壊端 <input type="checkbox"/> 一部損壊 <input type="checkbox"/> 不明
家屋の種類	持ち家 <input type="checkbox"/> 一戸建て <input type="checkbox"/> 集合住宅 賃 貸 <input type="checkbox"/> 一戸建て <input type="checkbox"/> 集合住宅(民間) <input type="checkbox"/> 公営住宅 <input type="checkbox"/> その他()
復旧していないライフライン	□ガス □水道 □電気 □下水道 □固定電話 □携帯電話 □インターネット通信
被災後の後片付け	<input type="checkbox"/> 片付け終了 <input type="checkbox"/> 災害ボランティアセンターに依頼(活動終了・継続中・追加で頼みたい・まだ来ていない) <input type="checkbox"/> 片付けしていない、できない(理由:)
生活再建について	
仮設住宅の申込み	<input type="checkbox"/> 入居済 <input type="checkbox"/> 申込み手続済 <input type="checkbox"/> 申込みを希望 <input type="checkbox"/> 申込みしない <input type="checkbox"/> 未定
住まいの再建意向	<input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 建て替え <input type="checkbox"/> 民間賃貸 <input type="checkbox"/> 災害公営住宅 <input type="checkbox"/> 被害なし <input type="checkbox"/> その他()
住まいの再建場所	<input type="checkbox"/> 災害前と同じ敷地 <input type="checkbox"/> 災害前と同じ地区 <input type="checkbox"/> 災害前と市町 <input type="checkbox"/> 県内 <input type="checkbox"/> 県外 <input type="checkbox"/> 未定・わからない <input type="checkbox"/> その他()
(解体する場合) 住まいの解体意向	<input type="checkbox"/> 解体予定(公費解体) <input type="checkbox"/> 解体予定(自費解体) <input type="checkbox"/> 解体予定だが、目途がたっていない <input type="checkbox"/> 未定・わからない <input type="checkbox"/> 解体の必要はない <input type="checkbox"/> その他()
住宅ローンの有無	被災した住宅のローンは残っていますか <input type="checkbox"/> 残っている <input type="checkbox"/> 残っていない
世帯の状況(収入・仕事)	
収入の状況(複数回答)	<input type="checkbox"/> 賦初・自営業等により収入あり <input type="checkbox"/> 年金で生活 <input type="checkbox"/> 預貯金で生活 <input type="checkbox"/> 失業手当等 <input type="checkbox"/> 雇用調整助成金 <input type="checkbox"/> 生活保護 <input type="checkbox"/> その他()
仕事の状況(複数回答)	<input type="checkbox"/> 自営業・会社役員 <input type="checkbox"/> 正社員 <input type="checkbox"/> 契約社員 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> 求職中 <input type="checkbox"/> 家事・育児 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他()
収入の変化	<input type="checkbox"/> 収入が大幅に減り、生活費に支障が出ている。 <input type="checkbox"/> 収入が減ったが、なんとかなっている。 <input type="checkbox"/> 震災前と収入は変わらず、特に困っていない。 <input type="checkbox"/> 震災前と収入は変わらないが、困っている。
世帯の状況(健康・福祉・食生活)	
健康状況	病気・怪我・精神面など、健康状態に不調がある家族等 <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない
通院・服薬	通院や服薬が必要な家族等 <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない
被災者の健康状態	(ご家族を含む、首冠症状や血圧等を記載)を記入してください。
福祉サービス	<input type="checkbox"/> 介護サービスを利用 <input type="checkbox"/> 障害者サービスを利用 <input type="checkbox"/> 保育所等サービスを利用
調理環境	<input type="checkbox"/> 調理環境がない <input type="checkbox"/> あるが使いにくい <input type="checkbox"/> 調理環境は問題ない <input type="checkbox"/> もともと自炊しない
食費(複数回答)	<input type="checkbox"/> 弁当やパン等安価品が中心になっている。 <input type="checkbox"/> 食費が大きく減っている家族等がある <input type="checkbox"/> 量販店・スーパー・コンビニ、冷凍食品、アレルギー対応品が手に入らず困っている <input type="checkbox"/> 十分な食事が摂れているとはいえない <input type="checkbox"/> 問題なく食事を摂れている <input type="checkbox"/> その他()
移動	<input type="checkbox"/> 特に困っていない <input type="checkbox"/> 移動手段がなく困っている(□通院 □通学 □買い物) <input type="checkbox"/> その他()
要配慮事項(複数回答)	<input type="checkbox"/> 病気・怪我 <input type="checkbox"/> 妊産婦 <input type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> 障害者(身体) <input type="checkbox"/> 障害者(知的) <input type="checkbox"/> 障害者(精神) <input type="checkbox"/> 介護 介護 <input type="checkbox"/> 医療機器 <input type="checkbox"/> アレルギー <input type="checkbox"/> ペット <input type="checkbox"/> DV <input type="checkbox"/> 虐待 <input type="checkbox"/> 外国人 <input type="checkbox"/> その他()
再訪問の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 緊急的な支援が必要 <input type="checkbox"/> 近いうちに訪問するほうがよい(優先) <input type="checkbox"/> 近いうちに訪問するほうがよい(中長期)
今後の支援に際しての留意事項	

石原ゼミ 防災教育プロジェクト

topic

能登半島地震の生活再建調査

▶ 高齢世帯（75～84歳の独居世帯）を訪問し、現在の生活状況や困りごとをお聞きしました。



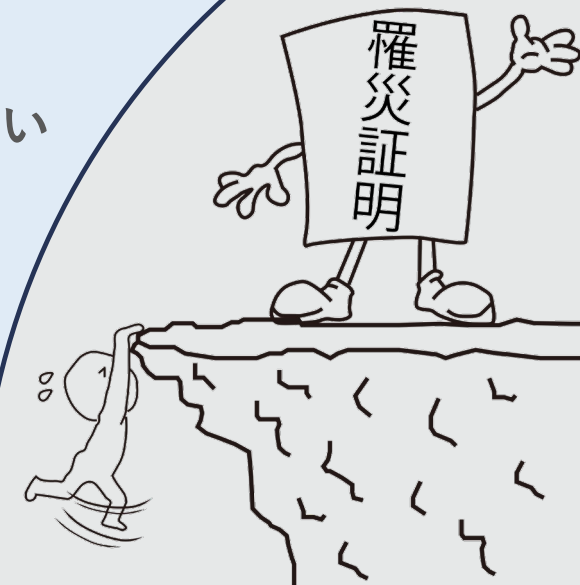
活動を通して、被災者の方の思いや生活状況のリアルを知ることが出来ました。



能登半島地震の生活再建調査

▶ 困りごとの例

- ★ 罹災証明書の判定に納得がいかない
- ★ 罹災証明書の判定が準半壊以下だったので全く補助金が出ない
- ★ 家屋修繕、再建の見通しが立たない
- ★ 家の片付けが終わらない
- ★ 震災によって通院や買い物などの移動手段がなくなり大変
- ★ 制度が複雑で分からない



topic

能登半島地震被災地の様子



石原ゼミ 防災教育プロジェクト

能登半島地震とインクルーシブ防災

能登半島地震での被災者一人ひとりに寄り添う活動を経験したことで、高齢者は足が悪く避難に時間がかかること、震災により日常生活の移動手段がなくなり避難の方法がなくなってしまうことが分かった。

- ▶ 災害時や災害前の個別的な計画が重要である。
- ▶ 小学生にインクルーシブ防災の重要性を理解してもらうために個別避難計画を学んでもらう。

能登半島地震とインクルーシブ防災

▶被災した災害時要援護者の現状を把握

👉 インクルーシブ防災が当たり前の社会を作るためには
被災者の現状を発信して多くの人に知ってもらう必要がある。

👉 防災教育授業で小学生にインクルーシブ防災の重要性を
理解してもらい、自分事として考えてもらうことで**インクルーシブ防災が当たり前の社会を実現**するための先駆けとする。

topic

台湾での活動

国立台湾海洋大学生の前でこれまで
私たちが行ってきた活動を報告し、
災害時の行動について意見交流を
行いました！



防災教育出前授業

▶ 9月20日に徳島県阿南市立山口小学校で防災出前授業を行いました。

授業目標

- 学校周辺地域の土砂災害の危険性について理解し、
自分ならどこに避難するか考えよう！
- 要援護者の災害時の個別避難について考えよう！

授業内容（山口小学校）

▶能登半島地震についての学習

- ・具体的に災害時に要援護者が困ることを能登半島地震の例などを用いて理解してもらう。
- ・実際に私たちが能登半島地震の生活再建調査を行ったことを説明し、高齢者等の困りごとを具体的に説明することでインクルーシブ防災について興味を持ってもらう。

▶土砂災害についての授業

- ・実際の動画を見てもらい、土砂災害の危険性を理解してもらう。
- ・土砂災害警戒情報の説明し、命を守るための避難行動を知ってもらう。

授業内容（山口小学校）

▶ 学校周辺で災害時に危険な場所を示す

- ・ 山口小学校周辺のハザードマップを見てもらい、土砂災害警戒区域に位置していることや要配慮者利用施設が近くにあることを知ってもらう。
- ・ 決められた避難所に無理やり移動するより、近くの頑丈な建物の二階以上に避難するなどの判断をするほうが安全である場合もあることを理解してもらう。

授業内容（山口小学校）

▶ 要援護者の災害時の個別避難について考えてもらう

- ・ 災害時要援護者に どのような配慮が必要なのか 考えてもらう。

▶ 個別避難計画の作成

- ・ 災害時要援護者は一人で避難することは難しいため、誰かに支援してもらう必要がある。
- ・ 個別避難計画を作成することで、災害時の迅速な避難支援に繋げることができる ということを知ってもらい、個別避難計画の重要性について理解してもらう。

個別避難計画の授業

個別避難計画とは

★高齢者や障害者など**支援を必要とする人**たちの避難計画を**一人ひとりの状況**に合わせて**事前に作成**しておき、災害時に備えるもの。

★個別避難計画を事前に作成しておくことで、**すぐに避難支援**ができ、**一人でも多くの命を助ける**ことにつながる。

個別避難計画の必要性

災害時要援護者は一人で避難することは難しいため、誰かに支援してもらう必要がある。そのため、個別避難計画は、支援者が要援護者の避難を支援するうえで、要援護者一人ひとりに合わせた備えや行動を把握することができる。

▶小学生に個別避難計画を作成してもらうことで、災害時の迅速な避難支援に繋げることができるということを知ってもらい、個別避難計画の重要性について理解してもらう。

topic

授業内容（山口小学）



石原ゼミ 防災教育プロジェクト

topic

ぼうさい甲子園

・12月21日に「ぼうさい甲子園」の表彰式・発表会が兵庫県公館で行われました！

・今年度は、「**能登半島地震の教訓を踏まえた
インクルーシブ防災教育の実現**」をテーマに研究を進め、奨励賞を受賞することができました★

・表彰式後は受賞者の皆さんと防災ワークショップを行い、意見交流をしました。



石原ゼミ 防災教育プロジェクト

防災教育出前授業 今後の予定

▶ 2月4日と5日に徳島県阿南市立橘小学校、中野島小学校で防災教育出前授業を行います。

授業目標

- 災害時要援護者が災害時の避難の際、どのような避難経路を通り、何が必要なのか考えてもらう！
- 要援護者の災害時の個別避難について考えよう！

授業内容（橘小学校）

▶能登半島地震についての授業

- ・ 令和6年能登半島地震での**地震や津波**について学ぶ。
- ・ 実際の避難所の様子について紹介することで、イメージを持ってもらう。

▶災害時要援護者についての授業

- ・ **災害時要援護者**とはどのような人か、どのようなことに困るのかを知ってもらう。

topic

授業内容（橘小学校）

▶災害時要援護者 個別避難計画ワークショップ

・必要な物資を考えてカードを選び、その理由をワークシートに記入することで、**必要な支援**について考える。



災害時要援護者が何に困るのかを考え、**どのような支援が必要なのか考える力**を身に着けることができる。

橘小学校 防災授業ワークシート

名前 ()

①左側に災害時要援護者が必要な持ち物について考えよう！

②右側に持ち物を選んだ理由を言こう！

Aさん 視覚障がい者（目が見えない人）

Bさん 聴覚障がい者（耳が聞こえない人）

橘小学校 防災授業ワークシート

石原ゼミ 防災教育プロジェクト

授業内容（中野島小学校）

▶ 能登半島地震被災地での活動経験を通しての授業

- ・ 能登半島地震被災地でのボランティア活動（被災高齢者等把握事業）を通して**個別避難計画の重要性**について知ってもらう。

▶ 川の氾濫、水害についての授業

- ・ 小学生に**氾濫の危険性**について理解してもらう。
- ・ 氾濫がおけるとどんな場所が危険なのかを理解してもらう。
どこまで水につかるのかを理解してもらう。

授業内容（中野島小学校）

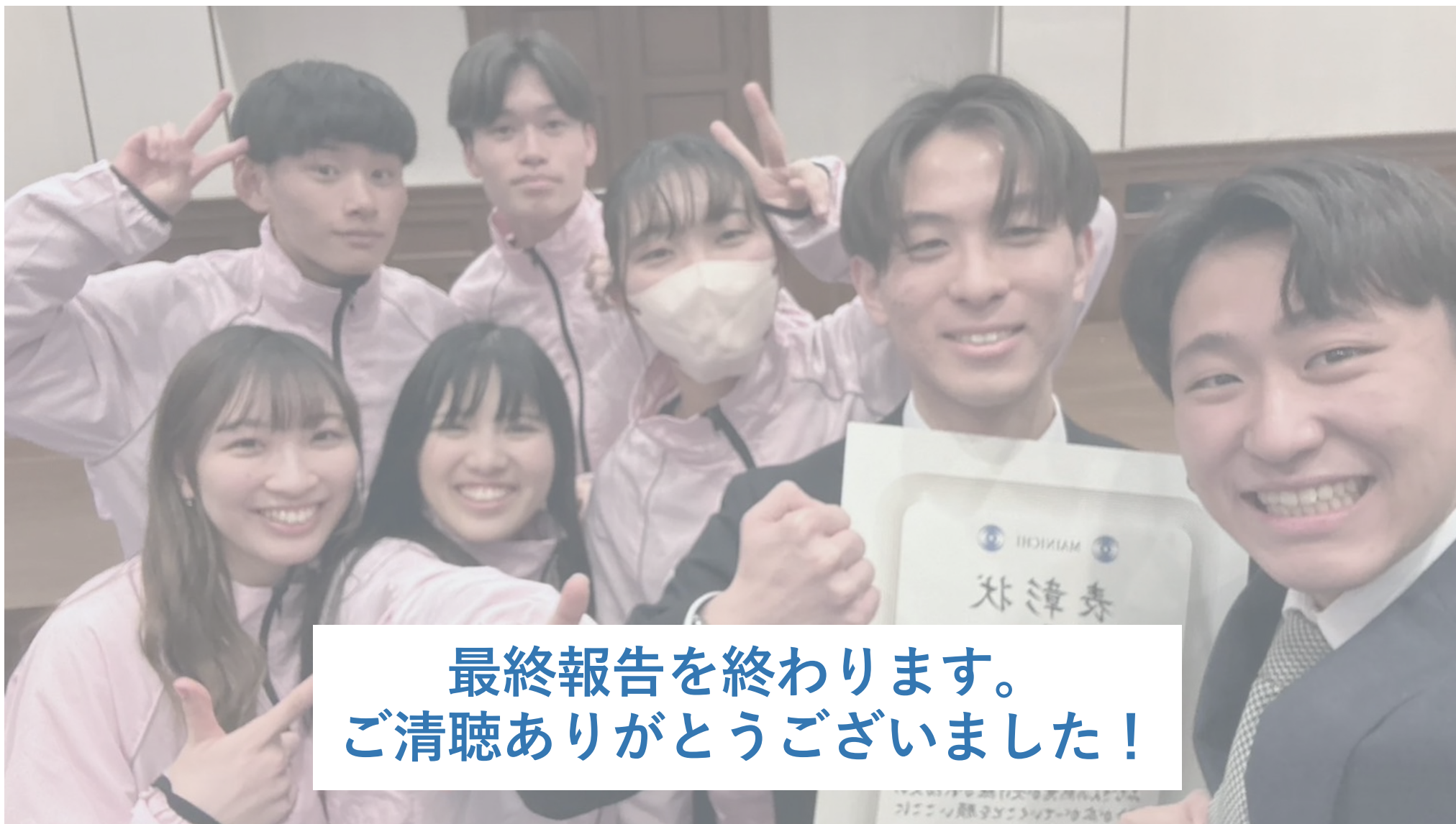
▶水害、インクルーシブに関するクロスロード

- ・ 事前にハザードマップを確認しておくことや、避難するタイミングなどを考えておくことが大切であると知ってもらう。
- ・ 災害時要援護者などの避難についてのクロスロードを通して、避難についてインクルーシブな避難について知ることができる。

▶水害時要援護者個別避難計画ワークショップ

- ・ 必要な物資を考えてカードを選び、その理由をワークシートに記入することで、必要な支援について考える。

- ▶今年度の活動を通して、児童が災害時要援護者への接し方について考えるきっかけを与えることができた。
- ▶引き続きインクルーシブ防災授業を阿南市の小学校で実施することで、家庭や地域への波及を目指します。
- ▶地域住民を対象にしたワークショップの実施はできなかったため、今後の課題とする。



最終報告を終わります。
ご清聴ありがとうございました！